

施工上のご注意

【手袋着用】

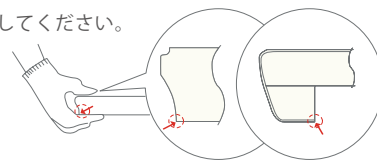
カウンター端部で手を切ったり、基材のささくれで指に物がささったりすることがありますので、必ず手袋を着用してください。

【運搬】

運搬時にカウンターが落下し、足を損傷することがありますので、2名以上で作業してください。

【保管】

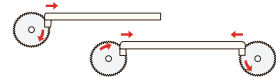
直射日光を避けた室内で水平を保つよう保管してください。



加工方法

【切断】

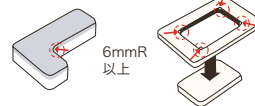
カウンターの切断は、丸鋸、メラミン鋸、金鋸を使用してR部から切りはじめてください。化粧面にヒビ、カケ等が発生するとその部分からクラックが生じることがありますので注意して切断してください。



【切り欠き・穴あけ加工】

コーナー部分を鋭角にカットするとその部分からクラックが生じる事があります。次の要領に従い加工してください。

- (1)ドリル・トリマー等でコーナー部に6R以上の穴を、化粧板側面から開ける。
- (2)金鋸、ジグソー等でカットする。
- (3)カット面を面取りする。



【木口貼り】

ゴム系接着剤で木口に同梱の木口貼り材(メラミン化粧板のカット品)を貼り合わせ、トリマー、鋸、ヤスリなどで仕上げます。

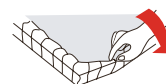


※接着剤使用時は、換気をよくして行ってください。

【養生】

塗装エッジカウンターの木口塗装面は施工中のキズ防止のため養生フィルムを貼付けてあります。施工の妨げになる場合以外は、剥がさずに施工してください。

※施工終了後は、出来るだけ早く養生フィルムを除去し、ダンボール等でカウンター全体を養生し製品の保護にご協力をお願いします。



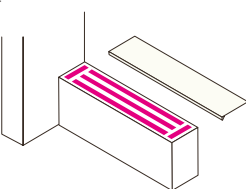
施工中は養生フィルムを剥がさないでください。

カウンター施工上の注意

[1] 下駄箱天板・出窓等キャビネットを台にする場合

表面の四方及び中央部をボンド・ビス留めしてください。

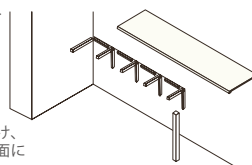
■部分をボンドを併用し、15cmピッチでビス留め。



[2] テーブル等受桟・アングル・支柱等で支える場合

裏面ソリ止めの処置済みのものをご使用いただくか、裏面バックャー貼り仕様をご指定ください。

受桟・アングルを下地に取付け、カウンター裏面に下穴をあけ、ボンドを併用しビス留め。又、支柱取付けは、カウンター裏面に鬼目ナットを取り付け、裏からビス留め。



Stylish Counter 使用上の注意とメンテナンス

使用上のご注意とメンテナンスについて

使用上のご注意

- ガスレンジとの距離は、カウンターにガス火が直接あたらないように、10cm以上はなしてください。
- 加熱した鍋、ヤカンや油鍋等は、直接カウンター上に置かず、必ずなべ敷等の上に置いてください。
- 火のついたタバコを直接カウンターの上に放置しないでください。
- ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面の直接当てないでください。
- カウンターの上で直接包丁やカッターナイフ等を使用しないでください。
- カウンター表面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- カウンター基材には木質材料が使用されておりますので、浴室など、湿気が多い場所及び屋外での使用は避けてください。
- カウンターに直接、蒸気等が当たる場所に炊飯器、湯沸かしポットを置かないでください。

お施主様の安全

梱包に同封の「施主様へ・使用上のご注意とメンテナンスについて」は、お施主さまの使用方法・メンテナンスの表示がされていますので、施工後に必ず製品の表面に貼付けてください。

メンテナンス

- 汚れは放置すると取り除きにくくなりますので、早めに取り除いてください。
- ヨードチンキ、毛染め剤、養毛剤等の薬液のかかったまま放置しておきますと、表面が変色することがありますので、すぐに洗い流してください。
- 普段のお手入れには、柔らかい布で水拭きを行ってください。
- 油のよごれ等は柔らかい布で水拭きを行ってください。その後、水分をきれいに拭き取ってください。
- 油よごれ等は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけ拭き取ってください。特に、塗装エッジカウンターの塗装部分はアルコール、シンナー等で拭くと色が落ちる可能性があります。絶対に使用しないでください。
- 酸、アルカリ性薬品、洗剤等で拭くと、変色や変質の原因をなりますので絶対に使用しないでください。

安全に関するご注意

- 1.加工の場合は保護メガネ・手袋を着用してください。
- 2.接着加工は、換気をよくして行ってください。
- 3.製品の上に乗らない。物を載せないでください。
- 4.製品は可燃物です。

加工のご注意

- 加工中に切粉が目に入りますと、眼球を痛めます。
- 切れ端で指先等を負傷する場合があります。
- 小口ダンボール配送製品はハネ返りに注意してください。
- 粉塵は可燃性ですので、粉塵爆発には充分配慮して対策を行ってください。
- 表面が平滑であるため、製品の上に乗ると、滑って転倒の恐れがあります。

応急処置

- 粉塵が目、鼻、口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で洗ってください。異常があれば医師の指示に従ってください。
- 火災発生時には、水、霧、泡、化学消火剤で消火してください。

荷扱いのご注意



直射日光遮蔽 水ぬれ防止 取扱注意 荷崩れ注意